

株式会社 ナコードについて

1 袖ヶ浦リサイクルセンター

廃石膏ボード再資源化事業

廃石膏ボードから再生された石膏は
製品としてセメント会社や石膏ボード
会社へ出荷されます。

廃太陽光パネル再資源化事業

2030年代以降、使用済太陽光パネ
ルの大量廃棄が予測されています。
近い将来起こり得る廃棄物問題を解決
するため、廃太陽光パネルの再資源化
事業に取り組んで参ります。

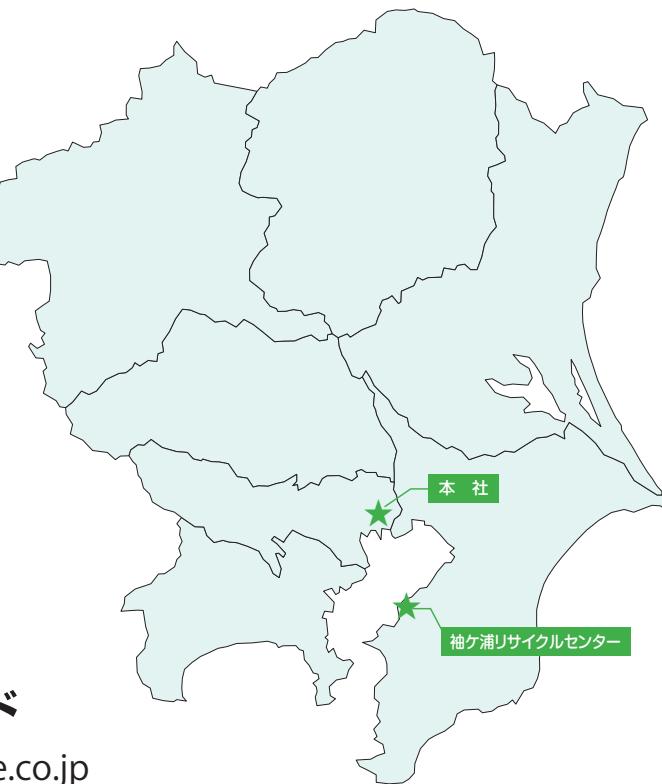
再資源化サービス事業

新たな資源循環への取組として、廃
石膏ボードから石膏ボードへの水平リ
サイクル、使用済太陽光パネルのリユ
ース販売、処理困難な廃棄物のセメン
ト焼成技術ノウハウを使った再資源化
の提案を行っていきます。

2 沿革

- 1997年 7月 株式会社ナコード（NACODE）設立
- 2000年 12月 太平洋セメント株式会社埼玉工場内にて木くず破碎事業開始
- 2004年 9月 千葉県袖ヶ浦市にて廃石膏ボード処理事業開業
(袖ヶ浦リサイクルセンター設立)
- 2021年 10月 木くず破碎事業撤退
- 2025年 8月 廃太陽パネルリサイクル事業開始

NACODE



株式会社ナコード

<https://www.nacode.co.jp>

本社

東京都中央区東日本橋 2-27-8
TEL(03) 3861-3870
FAX(03) 3861-3871

袖ヶ浦リサイクルセンター

千葉県袖ヶ浦市南袖 44
TEL(0438) 60-8815
FAX(0438) 60-8818



株式会社ナコードは太平洋セメント株式会社の100%子会社です。

2025.10.1,000M (Ver.2025.01)

廃石膏ボード再資源化事業

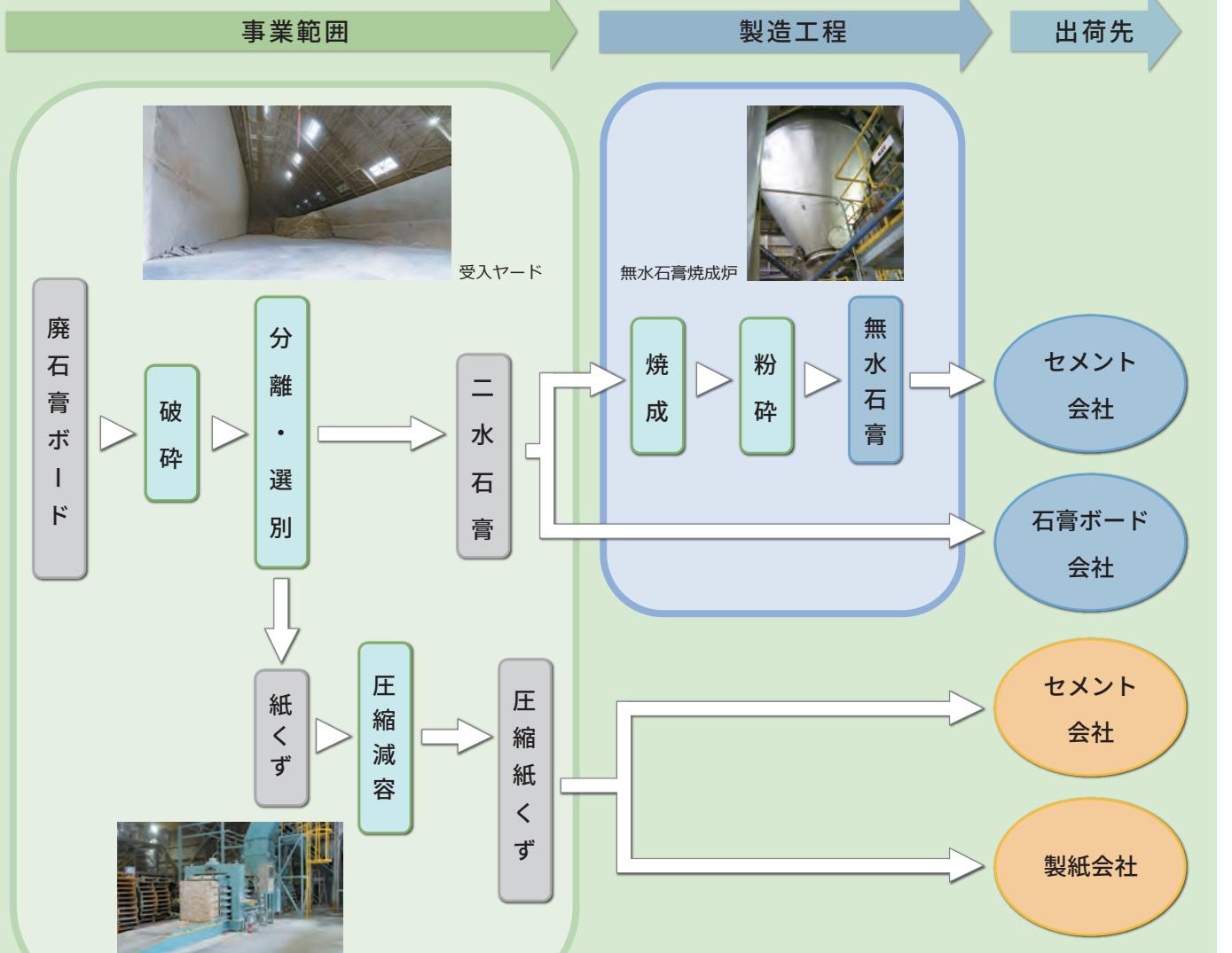
概要

建設現場から発生する廃石膏ボードを株式会社ナコード袖ヶ浦サイクルセンターで受入れ破碎選別します。選別された再生石膏粉のうち、一部は石膏ボード会社へ出荷され、新たな製品の原料として再資源化されます。残りの再生石膏粉は焼成処理を経て無水石膏となり、セメント原料として全量が再資源化されます。廃石膏ボード再資源化事業は、限りある天然資源の使用量削減にもつながり、地球環境保全に貢献して参ります。



袖ヶ浦リサイクルセンター場内入口

処理フロー



廃太陽光パネル再資源化事業

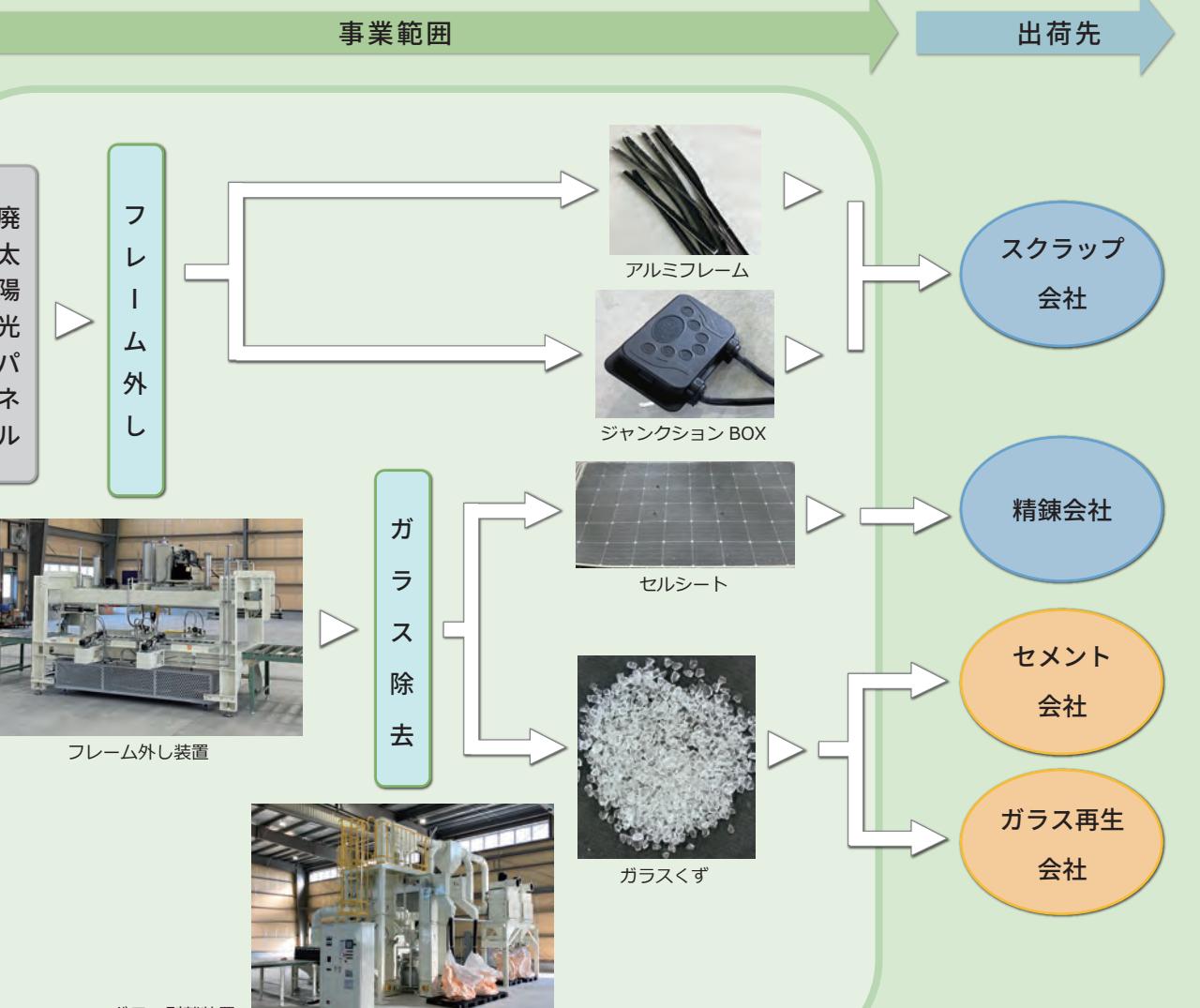
概要

廃太陽光パネルのフレーム枠を外した後、ブラストでセルシートの表面部分のガラスを剥離します。フレーム枠はスクラップ会社、ガラス屑はガラス再生会社やセメント会社、セルシートは精錬会社へ出荷されます。



設備全景

処理フロー



再資源化サービス事業

概要

ナコードは資源循環の理念に基づき、廃石膏ボードの水平リサイクル、使用済太陽光パネルのリユース、さらに太平洋セメントグループの一員として、セメント製造技術を活用した廃棄物処理等、多様な再資源化事業を展開して参ります。



セメント工場ロータリーキルン

資源環境への取組

